2022 年 1 月 18 日

運用一体型の月額定額制エッジコンピューティングサービス「SDPF Edge」の提供を開始

2024 年 11 月 1 日追記
「SDPF Edge」は 2024 年 10 月 31 日をもって提供を終了しました。詳細はこちらをご確認ください。

NTT コミュニケーションズ(以下 NTT Com)は、データ利活用プラットフォーム「Smart Data Platform」※1(以下 SDPF)において、運用一体型の月額定額制エッジコンピューティングサービス「SDPF Edge」(以下 本サービス)の提供を 2022 年 1 月 18 日より開始します。

エッジコンピューティングとは、端末から近い位置にサーバーを配置しデータを処理することで、リアルタイム性の確保や通信量の削減などを実現する分散処理型のコンピューティングモデルです。

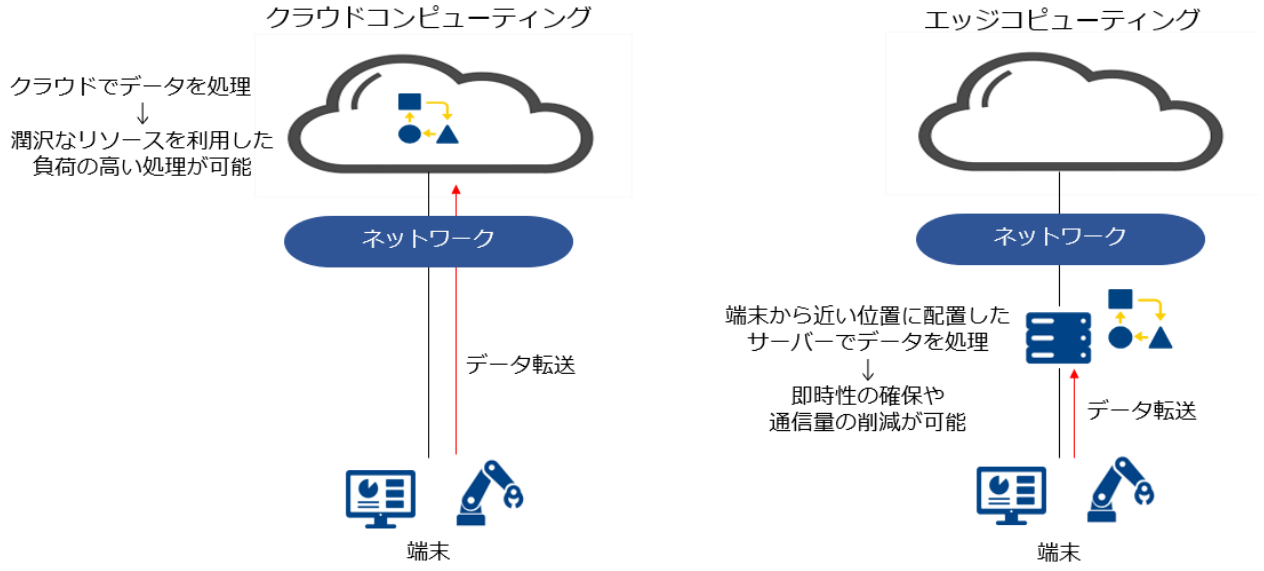
NTT Com は、製造業などを中心に本サービスを提供することで、膨大なデータを処理し即時の判断が求められる製品の品質管理などをこれまで以上に高速かつ経済的に実現します。

1.背景

5G や IoT の普及に伴い、データの収集が容易となったことから、収集したデータをどのように処理するかがこれまで以上に重要となっています。そこで注目されている技術が、エッジコンピューティングです。

NTT Com は、これまで「SDPF」を軸にデータ利活用による DX を推進してきましたが、本サービスの提供により、即時の判断や膨大なデータ処理を伴う案件への対応を可能とすることで、この取り組みを加速させます。

<エッジコンピューティングのイメージ図>



NTT コミュニケーションズ株式会社　広報室
NTT Communications Corporation Public Relations Office
〒100-8019　東京都千代田区大手町 2-3-1　大手町プレイスウエストタワー
OTEMACHI PLACE WEST TOWER 2-3-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8019, Japan
Tel (03)6700-4010 International +81 3 6700 4010

2.本サービスの特長

本サービスの主な特長は以下の通りです。

(1)即時の制御や判断が可能

本サービスは、ネットワークを介することに伴う遅延が無くなるため、データをよりリアルタイムに処理することができます。その結果、今までは難しかった即時の制御や判断などが実現可能です。

(2)膨大なデータ処理を伴うデータ利活用の通信量を削減することが可能

端末で生成したデータを無制限にクラウドに転送した場合、通信量が増大します。エッジ上でデータを整形・変換して集約することや、異常時のアラームのみデータ転送することで通信コストの抑制が可能です。

(3)運用一体型での提供により維持管理における高度なノウハウや人材が不要

エッジコンピューティングは、サーバーを分散配置するため、システムの維持管理負担の増大が懸念されます。本サービスでは、不具合時の現地駆け付けによるサーバー交換や、オンプレミスサーバーを運用する際に煩雑となるセキュリティ対策や遠隔による復旧作業などの運用業務を NTT Com が対応するため、運用ノウハウや人材に不安を持つお客さまも安心して導入可能です。

(4)月額定額制の採用により計画的な投資が可能

本サービスは、月額定額制を採用しています。予めサーバーを一括購入する必要がないため、初期投資を抑えることができ、お客さまのビジネス展開に応じて計画的な投資が可能です。

(5)「SDPF」で提供される他サービスとの連携により最適なデータ利活用を実現可能

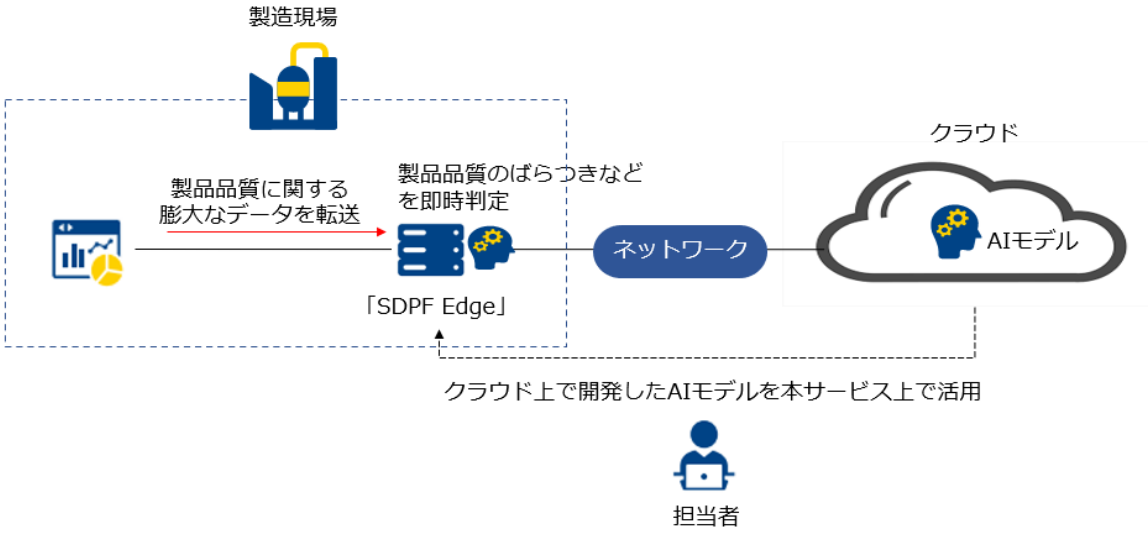
本サービスは、「SDPF」の他サービスとの連携が可能です。例えば本サービスと「SDPF クラウド/サーバー」を併用することで、リアルタイム性が求められるデータ処理とそれ以外のデータ処理を適材適所で実施することができます。要件に応じてエッジ、ネットワーク、クラウド、アプリケーションを含めたトータルなコンサルティングが可能であり、NTT Com ならではのデータ利活用を容易に実現できます。

3.ユースケース

(1)製造現場における製品の品質管理

クラウド上で開発した AI モデルを本サービス上で活用することで、品質のばらつきなどを即時判定することが可能です。これまで以上に膨大なデータをもとに素早く判定ができるため安定した製品品質を実現できます。

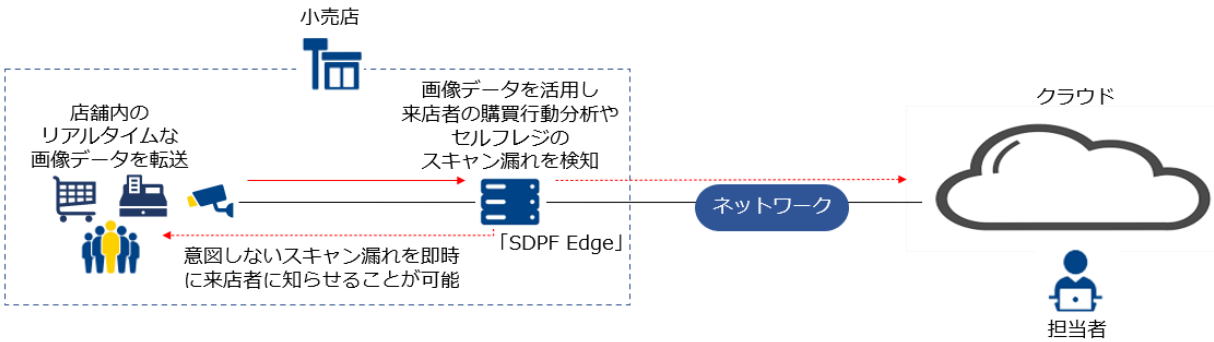
<利用イメージ>



(2)小売業における購買行動分析やセルフレジのスキャン漏れ検知

小売店などに本サービスを配置することで、店舗内のリアルタイムな画像データを活用した来店者の購買行動分析やセルフレジのスキャン漏れ検知などが可能です。購買行動に関する分析結果など必要なデータのみネットワークを介して転送することで通信量を削減することや、意図しないスキャン漏れを即時に来店者に知らせることが実現できます。

<利用イメージ>



4.提供開始日

2022 年 1 月 18 日

5.提供価格

CPU 数、メモリ容量、ストレージ容量に応じ 3 つのプランを用意しています。※2

プラン名	サーバタイプ	CPU 数	メモリ容量	ストレージ容量(種別)	月額費用(税込)
プラン 1	ラックマウント	32 コア	128GB	3.84TB（SSD）	123,600 円 (135,960 円)

プラン 2	ラックマウント	16 コア	64GB	0.96TB（SSD）	85,100 円 (93,610 円)
プラン 3	ボックス	8 コア	32GB	1TB（HDD）	47,700 円 (52,470 円)

6.お申し込み方法

弊社営業担当までお問い合わせください。

7.今後の展開

今後は、本サービスと 5G を連携させた移動・固定の融合サービスや、クラウドやエッジを組み合わせた IoT ソリューションの提供を検討していきます。あらゆる要件に対応するデータ利活用を実現することで、これまで以上にお客さまの DX に貢献します。

NTT ドコモ、NTT Com、NTT コムウェアは、新ドコモグループとして法人事業を統合し、新たなブランド「ドコモビジネス」を展開しています。「モバイル・クラウドファースト」で社会・産業にイノベーションを起こし、すべての法人のお客さま・パートナーと「あなたと世界を変えていく。」に挑戦します。

https://www.nttdocomo.co.jp/biz/special/docomobusiness/

NTT Com は、事業ビジョン「Re-connect X®」にもとづき、お客さまやパートナーとの共創によって、With/After コロナにおける新たな価値を定義し、社会・産業を移動・固定融合サービスやソリューションで「つなぎなおし」、サステナブルな未来の実現に貢献していきます。

https://www.ntt.com/about-us/re-connectx.html

※1：「Smart Data Platform」は、データ利活用に必要な収集・蓄積・管理分析におけるすべての機能を、ICT インフラも含めてワンストップで提供し、データ利活用による DX 実現を加速させるプラットフォームです。詳しくは下記 Web サイトをご覧ください。

https://www.ntt.com/business/sdpf/

※2：最低利用期間は 36 カ月です。各プランの CPU 数、メモリ容量、ストレージ容量はお客さまの要望に応じカスタマイズが可能です。カスタマイズ時の月額費用は弊社営業担当までお問い合せください。